

せんだい都市交通プラン

実施プログラムの進捗状況

※令和5年9月末時点

目 次

1. 実施プログラム.....	1
2. 実施プログラムの進捗状況.....	3
方針1 質の高い公共交通を中心とした都市交通の充実.....	3
方針2 賑わい創出に向けた都心交通環境の再構築.....	6
方針3 多様な都市活動を支える交通政策の推進.....	7

2. 実施プログラム進捗状況

方針1 質の高い公共交通を中心とした都市交通の充実



(1) 持続可能な公共交通ネットワークの構築

施策	施策内容	実施時期				進捗状況(R5.9月末時点)	今後の予定・課題等	施策の推進における新型コロナウイルス感染症の影響
		R3年度	R7年度	R8年度	R12年度			
施策1	持続可能な路線バス・地域交通ネットワークの構築		地域公共交通計画策定	計画の推進	地域公共交通計画策定	計画の推進	<ul style="list-style-type: none"> R5年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金(利便増進(策定)事業)を交付決定済(事業完了後交付予定)【関係行政機関】 R5年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金(利便増進(推進)事業)を交付決定済(事業完了後交付予定)【関係行政機関】 R6年3月に「仙台市地域公共交通計画」を変更予定(地域公共交通計画と乗合バス等の補助制度の連動化)【仙台市】 社会情勢の変化や立地適正化計画等の関連計画を踏まえ、適宜計画を見直し【仙台市】 「仙台市地域公共交通確保維持改善事業費補助金」の改定や、その他各種施策の実施に向けた検討【仙台市】 	
施策2	バス幹線区間の設定と設定区間における利便性向上策の実施		バス幹線区間設定		バス幹線区間設定	<ul style="list-style-type: none"> 鉄道に準じたサービスにより都心アクセスの利便性を確保する「バス幹線区間」及びバス幹線区間に準じた都心アクセスの利便性を確保する「バス準幹線区間」を設定(R4年3月策定の「仙台市地域公共交通計画」に位置付け)【仙台市】 利便性向上のため停留所を増設(28箇所)【宮城交通】 R4年度にバス幹線区間及びバス準幹線区間の複数事業者が運行する区間(八木山ライン)において、平日オフピークのダイヤ調整による利便性向上策を「仙台市地域公共交通確保維持改善事業費補助金」に位置付け、R5年4月より運行を開始【仙台市】 八木山ラインにおけるダイヤ調整に併せた統合時刻表の作成およびバス停へ掲示【仙台市】 R5年度は八木山ラインにおける、平日ピーク及び土休日のダイヤ調整による利便性向上策を検討中【仙台市】 		
施策3	フィーダーバス利便性向上		ネットワーク再編の検討			<ul style="list-style-type: none"> 宮城野原線の新設(虹の丘団地線延伸)および泉パークタウン線の朝日地区乗入れ【宮城交通】 鉄道駅へのアクセス路線として確保する「フィーダー区間」を設定(R4年3月策定の「仙台市地域公共交通計画」に位置付け)【仙台市】 インターネットを活用した乗り継ぎ案内を実施【宮城交通】 R5年3月にオープンデータ出力のためのバスロケーションシステム改修および東西線バスLCD(液晶ディスプレイ)表示機の更新を実施【交通局】 R5年度にGTFS-RT(動的バス情報フォーマット)を含めたオープンデータの公開方法について関係機関と協議【交通局】 R5年8月に南北線バスLCD表示機の更新業務委託を締結【交通局】 R5年3月に東西線バスLCD表示機の更新を実施【交通局】 R5年8月に南北線バスLCD表示機の更新業務委託を締結【交通局】 		

(2) 公共交通のさらなる利用しやすさの向上

施策	施策内容	実施時期				進捗状況(R5.9月末時点)	今後の予定・課題等	施策の推進における新型コロナウイルス感染症の影響
		R3年度	R7年度	R8年度	R12年度			
施策4	バス待ち環境の整備					<ul style="list-style-type: none"> バス停の上屋及びバス停の修繕【宮城交通】 (R4年度):上屋建替1件,上屋修繕1件,電照バス停修繕7件【R5年度】電照バス停修繕6件 みやぎ蔵王山麓アクセス線においてキツネ村バス停での乗降数が多く、冬場に向け、バス停の環境整備として舗装と屋根の設置について検討中【タケヤ交通】 スマートバス停関係のメーカー主催ウェブセミナーを聴講【交通局】 R4年度に電照式標識を5箇所、バス停上屋を6箇所整備【交通局】 R4年度に広告付きバス停を4か所、R5年度に2箇所整備【交通局】 R4年3月策定の仙台市地域公共交通計画に位置づけ、R4年度にバス停整備に向けた課題等を整理【仙台市】 R5年4月から学識経験者及び交通事業者で構成する公共交通WGにて統合バス停に向けた検討に着手【仙台市】 	<ul style="list-style-type: none"> 継続してバス停の上屋及びバス停を修繕(上屋修繕5件予定)【宮城交通】 引き続きメーカーとの打合せや国内事例などを参考に導入を検討するが、導入と維持管理費に相当な費用を要するため、投資効果の創出が難しいことが課題【交通局】 R5年度下期以降の広告付きバス停整備計画について民間事業者と引き続き協議するが、民間事業者都合で整備計画が変更となることが課題【交通局】 交通局発注工事でバス停上屋の設置工事を請け負う業者が無い事が課題【交通局】 バス停統合ガイドラインの作成に向け学識経験者及び交通事業者で構成する公共交通WGにて協議、検討【仙台市】 	<ul style="list-style-type: none"> コロナにより広告料収入の減少により、広告付きバス停整備箇所数が伸び悩んでいる【交通局】 仙台西部ライナーのタケヤ交通本社前バス停にバス待合室(トレーラーハウス)において、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、しばらく閉鎖した【タケヤ交通】
施策5	既存鉄道の機能強化		仙台駅前広場再整備			<ul style="list-style-type: none"> 仙台駅西口駅前広場の再整備事業がR4年度で完了し、R5年4月より全面供用開始【仙台市】 「泉区役所建替連絡調整会議交通部会」をR4年度に2回、R5年度に2回開催【仙台市】 業務委託にて泉中央交差点および泉中央駅バスターミナルの混雑緩和策検討【仙台市】 市内外関係機関との協議(出入口設置の道路法95条協議、泉中央駅西側歩道における歩行者と自転車の混雑改善策検討)【仙台市】 JR福田町駅 R3年度からR4年度にかけて、JR東日本にて駅と自由通路の位置、全体スケジュールの検討や概算事業費を算出。また、地元組織である福田町駅整備促進協議会と意見交換を行いながら、広場などの駅周辺施設について市が検討【市民・JR・仙台市】 R5年度は、駅の移設や周辺施設整備に係る費用負担等の基本的事項についてJR東日本と合意したことを示す基本協定の締結に向けて協議【JR、仙台市】 市内各JR駅 JR東日本にてR4年度から本市域内の鉄道駅において案内設備(バリアフリー施設)の整備に着手【JR】 	<ul style="list-style-type: none"> R5年11月、R6年2月に泉区役所建替連絡調整会議交通部会を開催予定【交通事業者・仙台市】 R5年度中に泉中央駅バスターミナル利用実態調査の実施、泉中央地区交通環境改善策及び全体工程のとりまとめ実施【仙台市】 R6年度に七北田実況線自転車走行空間整備(矢羽根設置)工事および泉中央交差点等詳細設計を実施【仙台市】 福田町駅 R5年11月にJR東日本と基本協定を締結予定【JR・仙台市】 基本協定締結後、設計、工事に着手予定(駅の移設や周辺施設整備に併せ踏切や浸水対策も実施する予定であることから、設計に概ね2年、その後の新駅供用開始までの工事が概ね10年程度要する見込み。JR東日本による駅や踏切、浸水対策等の基本設計において、工程の短縮を検討)【JR・仙台市】 市内各JR駅 継続して案内設備(バリアフリー施設)整備予定(対象駅:19駅)【JR】 	
施策6	公共交通の情報提供や案内誘導の改善		情報提供・案内誘導の改善検討			<ul style="list-style-type: none"> R5年3月にどこバス仙台英語対応・オープンデータ出力のためのバスロケーションシステム改修を実施【交通局】 5年度にGTFS-RT(動的バス情報フォーマット)を含めたオープンデータの公開方法について関係機関と協議【交通局】 交通局ホームページ、SNS及び「どこバス仙台」において、運行情報などリアルタイムでの情報発信【交通局】 仙台西部ライナー、仙台エアポートリムジンバス、みやぎ蔵王山麓アクセス線の時刻表、経路図等について、R5年9月よりGTFS-RTを含めたオープンデータを公開(Google Map等に提供済)【タケヤ交通】 R5年3月より、各路線の時刻表と同時に、「近くのバス停はどこにあるのか」「バスはいつ来るのか」「あと何人乗れるのか」「バスはどこを走っているのか」をGPS端末を利用し地図上に表示して提供する「バス予報」を導入(バス停、バス車内のQRコードより表示する方式)【タケヤ交通】 R5年3月に全国都市緑化フェア開催に合わせ、既存の駅構内サインの改善(案内ラインを通路床面に新設)【交通局】 R5年7月に地下鉄駅構内サイン等への案内言語(繁体字)を追加するとともに、9月には駅構内の地下鉄マップへ繁体字を追記【交通局】 R3年度に仙台駅周辺乗り換え案内に関する関係者会議などで問題点を抽出し、R4年度に各関係機関において問題点の改善を実施【交通局】 R5年度のダイヤ改正に伴い、仙台駅西口バスターミナル内の案内誘導サインを設置【交通局】 	<ul style="list-style-type: none"> デジタルサイネージの導入について、R5年度末に設置場所や実施可否も含め検討予定【タケヤ交通】 GTFS-RTを含めたオープンデータの公開について継続して検討するが、GTFS-JP(静的バス情報フォーマット)についてデータの修正等が必要であり、GTFS-RTを含めたオープンデータの公開前に解消する必要がある【交通局】 今後も「どこバス仙台」においてリアルタイムでの情報発信を継続【交通局】 継続して利用者の意見等からより分かりやすい案内サインを検討【交通局】 	
			路線バス共通ナンバリング導入検討			<ul style="list-style-type: none"> R4年3月策定の仙台市地域公共交通計画に位置づけ、R4年度はナンバリングの現状、課題、必要性について整理【仙台市】 	<ul style="list-style-type: none"> 路線バスの先行や方面、主要な経由地が分かりやすくなるような共通ナンバリングについて、学識経験者及び交通事業者で構成する公共交通WGにて協議、検討【仙台市】 	

施策7	運賃施策等による公共交通利用の促進	各種運賃制度などの継続		<ul style="list-style-type: none"> ・月の乗車回数に応じて乗車金額の5%～25%のポイントが貯まる基本ポイントについて、市バス・地下鉄ともにR5年3月31日営業日をもって付与終了。地下鉄と市バス、または地下鉄と宮城交通・ミヤコーバス（高速バスを除く）を60分以内に乗り継ぐとポイントが貯まる乗継ポイントについては、鉄道にバスが結節する交通体系の形成に向けた取組みは引き続き推進する必要があることから、今後も制度を継続【宮城交通・交通局】 ・敬老乗車証制度を引き続き運用するとともに制度のあり方について検討【高齢者・若年層に市民意識アンケート実施、社会福祉審議会老人福祉専門分科会にて審議(5回開催)】【仙台市】 ・市バス、宮城交通バス、地下鉄の市内区間を無料で利用できるふれあい乗車証制度(ICカード交付方式)を引き続き運用【仙台市】 ・地下鉄均一運賃制度及び東西線結節駅周辺バス均一運賃制度を継続して実施するとともに、現制度の今後の在り方を含め新たな運賃制度について検討【仙台市】 ・120円ゾーンと市中心部地下鉄均一運賃(210円)を継続し、都心部における公共交通利用促進を図った【宮城交通・交通局・仙台市】 ・「120円ゾーン一日乗車券」の実証実験を終了し、仙台MaaSで本格導入【交通局】 ・「環境定期券制度～休日カルガモ家族～」の実施を継続【宮城交通・交通局】 ・市バス一日乗車券、地下鉄一日乗車券を継続して販売【交通局】 ・るーぶる仙台一日乗車券、るーぶる仙台・地下鉄共通一日乗車券、仙台まるごとバスを引き続き実施している。また、各種チケットについて、仙台MaaSやTOHOKU MaaSに参加中(一部調整中)【交通局・仙台市】 ・全国都市緑化仙台フェア期間限定で、市バスの特定区間(荒井駅～農業園芸センター前、荒井駅～震災遺構仙台市立荒井小学校前)及び地下鉄南北線、東西線を利用できる一日乗車券「緑化フェア周遊バス」を仙台MaaSにて販売【交通局】 ・「宮交休日一日乗車券」の販売(路線沿線の事業者と連携した特典付)【宮城交通】 	<ul style="list-style-type: none"> ・R6年度中に基本ポイント付与終了の制度見直しの効果について検証予定【交通局】 ・R5年11月～12月に敬老乗車証制度見直しについてパブリックコメント、市民説明会実施の後、R6年1月に社会福祉審議会老人福祉専門分科会にて最終案について審議【仙台市】 ・ふれあい乗車証の交付者数、使用額ともに増加傾向であるため、制度を継続するために見直しが必要【仙台市】 ・地下鉄均一運賃制度及び東西線結節駅周辺バス均一運賃制度を現状分析し、利用者の乗継抵抗軽減や公平性、持続可能性を考慮し、交通局の運賃改定等の動向も踏まえながら引き続き検討【仙台市】 ・都心バスや地下鉄の均一運賃制度を継続して実施するとともに、都心部における均一運賃制度の対象エリアや運賃設定等について、引き続き検討【宮城交通・交通局・仙台市】 ・「120円ゾーン一日乗車券」の仙台MaaSでの販売の在り方について検討予定【交通局】 ・今後も「環境定期券制度～休日カルガモ家族～」を継続して実施【宮城交通・交通局】 ・仙台まるごとバスの仙台MaaSへの早期参加に向け、関係部局と調整【仙台市】 ・引き続き各一日乗車券の販売を継続【交通局】 ・R5年度中に一日乗車券類の具体的な取り組み内容について実施計画を策定【タケヤ交通】 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナの影響により乗車人員が計画上的見込みと大きく乖離したことにより基本ポイント付与制度見直しを行った【交通局】 ・コロナ禍の影響により利用者減少(利用者実績の動向から、今後、徐々に回復するものと予測)【仙台市】 ・コロナ禍の影響によりふれあい乗車証の使用額が減少【仙台市】 ・コロナによるお出かけ需要の減や他交通手段への逸走により、コロナ前と比較すると各制度の利用者は減少【交通局】
		新たな運賃施策等の検討		<ul style="list-style-type: none"> ・学生を対象にした新たな乗車券制度について事業者と意見交換を行い、実施に向け検討【仙台市】 ・全国都市緑化仙台フェア期間限定で、市バスの特定区間(荒井駅～農業園芸センター前、荒井駅～震災遺構仙台市立荒井小学校前)及び地下鉄南北線、東西線を利用できる一日乗車券「緑化フェア周遊バス」を仙台MaaSにて販売【交通局】 ・公共交通の利用促進に向け、R4年及びR5年に開催した交通フェスタにおいて公共交通機関を利用して来場した方へ協力店舗で利用できるクーポンを配布。R5年度の協力店舗を拡大(R4年度:9店舗→R5年度:15店舗)し、公共交通利用の促進に向けた優遇策を推進【仙台市】 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用促進に繋がる新たな運賃制度について引き続き検討【交通局】 ・R6年度未だの制度実施に向け事業者と引き続き検討【仙台市】 ・R4年度およびR5年度の取組み効果を検証し、これまでの公共交通利用者優遇策を含め効果的な取組みを検討【仙台市】 	
施策8	キャッシュレス決済の利活用の促進	IC乗車券の導入促進・キャッシュレス決済等の検討		<ul style="list-style-type: none"> ・「宮交休日一日乗車券」「120円ゾーン1日乗車券」のキャッシュレス化【宮城交通】 ・仙台西部ライナー、仙台エアポートリムジンバス、みやぎ蔵王山麓アクセス線の全路線においてキャッシュレス決済(クレカ、電子マネー、QRコード)を導入し、シームレスに乗り継ぎ可能となる仙台MaaS、東北MaaSのほか、旅CUBE、Ryde passも導入実施【タケヤ交通】 ・全国都市緑化仙台フェア期間限定で、市バスの特定区間(荒井駅～農業園芸センター前、荒井駅～震災遺構仙台市立荒井小学校前)及び地下鉄南北線、東西線を利用できる一日乗車券「緑化フェア周遊バス」を仙台MaaSにて販売【交通局】 ・ソフトバンクによる小児用携帯端末向けオプションサービス「タッチでメール」に対し、icscaの利用を承認【交通局】 ・大和町による身分証一体型icsca「サブローカード」の運用開始【交通局】 ・住宅政策課による「仙台市若年・子育て世帯住み替え支援事業」の支援メニューの一つとしてicscaポイント付与の開始【交通局】 ・小児用icscaの普及促進に向けた「小学生はじめてicscaキャンペーン」の実施【交通局】 ・るーぶる仙台一日乗車券、るーぶる仙台・地下鉄共通一日乗車券、仙台まるごとバスを引き続き実施している。また、各種チケットについて、仙台MaaSやTOHOKU MaaSに参加中(一部調整中)【交通局・仙台市】 ・ICカード未導入の事業者と導入に向けた意見交換を実施【仙台市】 	<ul style="list-style-type: none"> ・仙台MaaSでの新券種販売について引き続き検討【交通事業者・仙台市】 ・事前チケット購入についてR5年度未だに検討【タケヤ交通】 ・ICカード導入について継続して事業者と協議【仙台市】 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナによるお出かけ需要の減により、利用者が減少したが、非接触型決済の需要は高まったと考えられる【交通局】
		誰にでも使いやすい移動車両等の導入		<ul style="list-style-type: none"> ○JR福田町駅 ・R3年度からR4年度にかけて、JR東日本にて駅と自由通路の位置、全体スケジュールの検討や概算事業費を算出。また、地元組織である福田町駅整備促進協議会と意見交換を行いながら、広場などの駅周辺施設について市が検討【市民・JR・仙台市】 ・R5年度は、駅の移設や周辺施設整備に係る費用負担等の基本的事項についてJR東日本と合意したことを示す基本協定の締結に向けて協議【JR・仙台市】 ○各JR駅 ・JR東日本にてR4年度+H25:H26ら本市内の鉄道駅において案内設備(バリアフリー施設)の整備に着手【JR】 	<ul style="list-style-type: none"> ○福田町駅 ・R5年11月にJR東日本と基本協定を締結予定【JR・仙台市】 ・基本協定締結後、設計、工事に着手予定(駅の移設や周辺施設整備に併せ踏切や浸水対策も実施する予定であることから、設計に概ね2年、その後の新駅供用開始までの工事が概ね10年程度要する見込み。JR東日本による駅や踏切、浸水対策等の基本設計において、工程の短縮を検討)【JR・仙台市】 ○市内各JR駅 ・継続して案内設備(バリアフリー施設)整備予定(対象駅:19駅)【JR】 	
施策9	駅やバス・地下鉄車両等のバリアフリー化	鉄道駅におけるバリアフリー化の推進		<ul style="list-style-type: none"> ・低床バスの導入(R4年度:15台(うちEVバス2台)、R5年度:9台)【宮城交通】 ・仙台西部ライナーにて10台のノンステップバスを運行中【タケヤ交通】 ・ノンステップバス導入を促進するため、導入に対する補助金を交通事業者に交付(R4実績:宮城交通2台)【仙台市】 ・ノンステップバスの導入【交通局】 (R4年度末ノンステップバス導入状況:ノンステップバス車両数/バス総車両数=423台/466台=90.8%) ・地下鉄南北線新型車両にて、車両とホームとの段差の解消、各車両での車椅子スペース設置等のバリアフリー化を実施できるよう車両設計を行い、R5年9月に1編成目が搬入【交通局】 <南北線新型車両にて実施するバリアフリー化の内容> <ul style="list-style-type: none"> ○ドア開閉動作開始ランプの設置 ○車両とホームとの段差解消 ○各車両に車椅子・ベビーカースペースの設置 ○車椅子、ベビーカースペースに二段手すりの設置 ○液晶の車内案内表示装置により次停車駅の戸開方向や運行等に関する異常時の情報提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事業者に対し引き続き補助を行い、ノンステップバス導入を促進【仙台市】 ・R5年度未だにノンステップバスを28台導入予定【交通局】 ・地下鉄南北線新型車両について試運転調整、運転訓練等を経てR6年度秋頃に運用開始予定【交通局】 (プラン中間年のR7年度までに計3編成、計画期間のR12年度までに全編成納入) 	
		誰にでも使いやすい移動車両等の導入		<ul style="list-style-type: none"> ・既存のバス停や鉄道駅を乗降ポイントとして設定【仙台市】 ・運営検討会等で住民ニーズを把握し、バスや鉄道への乗り継ぎがしやすい医療施設や商業施設等を乗降ポイントとして設定【仙台市】 	<ul style="list-style-type: none"> ・住民ニーズを把握したうえで、必要に応じた交通結節点の整備について検討【仙台市】 ・継続して医療施設や商業施設等と連携した乗り継ぎ停留所の設置に努める【仙台市】 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症による外出の自粛の影響で、利用者が伸び悩み目標収支率の達成に苦労した地区があった【仙台市】

(3)みんなで育てる地域交通

施策	施策内容	実施時期				進捗状況(R5.9月末時点)	今後の予定・課題等	施策の推進における新型コロナウイルス感染症の影響
		R3年度	R7年度	R8年度	R12年度			
施策10	地域交通による地域が主体となった移動手段の確保・充実					<ul style="list-style-type: none"> ・地域主体で地域交通の運行を行っている燕沢地区(本格運行)、新川地区(本格運行)、坪沼地区(本格運行)、秋保地区(実証運行)、生田地区(試験運行)の5地区について、専門家派遣や必要経費に対する技術的・財政的な支援を実施【仙台市】 ・田子・余目地区、岡田地区、鶴巻地区、六郷・沖野地区、六郷東部地区、郡山地区、泉西部地区の合計7地区において、意見交換会を実施。うち、田子・余目地区、岡田地区、鶴巻地区、六郷東部地区の3地区において、R5.6月から専門家を派遣し運行計画を検討中【仙台市】 ・地域交通を導入している5地区において、元気乗り乗り割引(高齢者や障害者等に向けた割引運賃)を設定して運行【仙台市】 	<ul style="list-style-type: none"> ・下記のとおり、地域交通の導入・試験運行等を実施【仙台市】 ○燕沢地区、新川地区、坪沼地区:本格運行継続 ○秋保地区:実証運行実施中(R6年度より本格運行予定) ○生田地区:R5.10月より試験運行(2回目)実施予定 ・田子・余目地区、岡田地区、鶴巻地区、六郷東部地区について、R6年度からの試験運行に向けた運行計画策定等の支援を実施【仙台市】 ・ICカード乗車券の導入やマイナンバーカード等と連携について、他都市事例等の情報を収集【仙台市】 	
施策11	地域交通と路線バス等をつなぐ交通結節点整備					<ul style="list-style-type: none"> ・既存のバス停や鉄道駅を乗降ポイントとして設定【仙台市】 ・運営検討会等で住民ニーズを把握し、バスや鉄道への乗り継ぎがしやすい医療施設や商業施設等を乗降ポイントとして設定【仙台市】 	<ul style="list-style-type: none"> ・住民ニーズを把握したうえで、必要に応じた交通結節点の整備について検討【仙台市】 ・継続して医療施設や商業施設等と連携した乗り継ぎ停留所の設置に努める【仙台市】 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症による外出の自粛の影響で、利用者が伸び悩み目標収支率の達成に苦労した地区があった【仙台市】

(4)モビリティ・マネジメント等の実施による公共交通の利用促進

施策	施策内容	実施時期			進捗状況(R5.9月末時点)	今後の予定・課題等	施策の推進における新型コロナウイルス感染症の影響
		R3年度	R7年度	R8年度			
施策12	モビリティ・マネジメント等(せんだいスマート)の推進	せんだいスマート各種施策の実施			<p><住民モビリティ・マネジメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・R4年度に、モビリティ・マネジメント(MM)取組み地域の中で各種ツール等を配布する世帯(実施群)と配布しない世帯(制御群)を設定し、実施群とコミュニケーションを図った【仙台市】 ・実施群と制御群で日常の公共交通利用状況などについてどのような差が生じたかを把握するための事後調査を実施し、両者の事前調査と事後調査の比較結果をMM取組み地域に周知【仙台市】 ・R4年度に策定した利便増進実施計画に基づき、路線バスの利便増進を進めている八木山・向山地域において、東北工業大学と連携し、イベント等の開催を通じた八木山ライン沿線住民とのコミュニケーションを図りながら、MMのより効果的な取組みの立案を推進【仙台市】 	<p><住民モビリティ・マネジメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・R5年10月に開催される「鶴ヶ谷市民センターまつり」において、模型による模擬体験および公共交通の乗り方・マナーの学習を目的としたクイズ等のブースを出展し、対面によるコミュニケーションにより公共交通利用を促進【仙台市】 ・MMのより効果的な取組み方法の確立に向けて検討【仙台市】 	
		<p><転入者モビリティ・マネジメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・本市への転入者に対し、仙台市内のバス路線図や公共交通の案内などの情報が掲載されている資料を配布(R4実績：22,996部配布)【仙台市】 ・利用促進に向け、配布資料をHPのリンクを掲載した転入者向けのチラシに移行【仙台市】 ・公共交通の利便性の高い地域への居住誘導を目指し、転入者が物件を探している段階での情報提供をするため、不動産会社等との意見交換を実施【仙台市】 	<p><転入者モビリティ・マネジメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、利用促進に向けた取組みを行うとともに、アンケートなどを通して、転入者が利用しやすい情報案内について検討【仙台市】 ・公共交通の利便性の高い地域への居住誘導と転入前の情報提供のため、市内不動産会社へ協力を依頼するとともに利用者への情報提供を実施(不動産会社へのバスマップ等の配布)【仙台市】 				
		<p><学生・生徒モビリティ・マネジメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・R4年3月に東北学院大学と連携し、WEB版情報マップを作成【仙台市】 	<p><学生・生徒モビリティ・マネジメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内の大学・短大と協議・連携し、情報マップの作成等の取組実施【仙台市】 ・以前作成支援したマップが利用されていない事例から、今後の支援の内容・方法について、大学と意見交換しながら検討【仙台市】 				
		<p><公共交通利用促進イベントの開催></p> <ul style="list-style-type: none"> ・R4年およびR5年10月に東北地区「鉄道の日」実行委員会主催の「鉄道フェスティバルin東北」に参加【交通局】 ・公共交通の利用促進に向け、R4年およびR5年9月にイベント「交通フェスタ」を開催【仙台市】 ・「みやぎバスまつり」をR5年9月に勾当台公園市民広場で開催【宮城県バス協会】 ・R4年10月に「バス・ちか探検ツアー」を開催【交通局】 	<p><公共交通利用促進イベントの開催></p> <ul style="list-style-type: none"> ・R6年度以降にも東北地区「鉄道の日」実行委員会主催の「鉄道フェスティバルin東北」に参加予定【交通局】 ・R6年度以降も交通フェスタを開催し、交通事業者や企業、団体等と連携しながら公共交通の利用促進を図る【仙台市】 ・市役所本庁舎立替に伴い勾当台公園市民広場が利用できないため、来年度以降の「みやぎバスまつり」の開催場所について検討が必要【宮城県バス協会】 ・R5年10月に「バス・ちか探検ツアー」を開催予定【交通局】 				
		<p><小学生への公共交通に関する学習の実施></p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内各小学校に対し、公共交通に関する学習として模型の貸出等について周知し、車載器、地下鉄券売機、地下鉄改札機の模型を貸出【仙台市】(R4実績：15校 R5実績【9.30時点】：2校) ・R5年度に川平小学校PTAが主催する「川小フェスタ」において、模型を使った公共交通利用の模擬体験や自転車と公共交通のメリット・デメリットを学ぶことができる交通すごろく等を実施【仙台市】 ・R4年,R5年7月に「夏休み親子探検ツアー(バス・地下鉄)」を実施【交通局】 ・小学生を対象にバス乗り方教室の実施【宮城交通】 	<p><小学生への公共交通に関する学習の実施></p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通に関する学習のため、引き続き市内各小学校に対し、模型の貸出を行う【仙台市】 ・R5年10月に開催される「鶴ヶ谷市民センターまつり」において、模型による模擬体験および公共交通の乗り方・マナーの学習を目的としたクイズ等のブースを出展【仙台市】 				
		<p><市民の健康づくりを支える社会環境の改善・整備></p> <ul style="list-style-type: none"> ・働き盛り世代への外出や通勤を通じた身体活動量増加の啓発【仙台市】 ・市中心部、各区地下鉄、JR駅周辺にウォーキングコースを設定し、マップとして配布。また、ウォーキングイベントなども併せて開催【仙台市】 ・Webサイト「アールワーク仙台」にて身体活動量増加につながるイベントや、観光情報などを健康づくり情報と一緒に発信【仙台市】 	<p><市民の健康づくりを支える社会環境の改善・整備></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウォーキングコースの周知や、ウォーキングイベントの開催、サイトの情報発信等で、引き続き外出を通じた身体活動量増加の取り組みを実施【仙台市】 	・テレワークなど新しい働き方の影響で外出の機会が減少し、市民の運動機会や歩数の減少につながっている【仙台市】			
		<p><市内事業所への公共交通利用の促進></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「仙台市地球温暖化対策等の推進に関する条例」に基づき、R2年4月より「温室効果ガス削減アクションプログラム」の運用を継続し、従業員の公共交通利用を促進(R5年9月末時点で制度参加事業所数は267事業所)【仙台市】 	<p><市内事業所への公共交通利用の促進></p> <ul style="list-style-type: none"> ・R5年4月からの第二計画期間開始に合わせ、各種業界団体との連携による周知・啓発等を行い、更なる事業所の参加促進及び公共交通機関の利用の促進を図る【仙台市】 				
		<p><パーク&ライド等の推進></p> <ul style="list-style-type: none"> ・荒井駅前P&R駐車場の利用実績確認(毎月)および荒井駅周辺の時間貸し駐車場調査(年1回程度)を実施【仙台市】 ・一部の地下鉄駅などでパーク&ライド周知ポスターを掲示し、公共交通利用への転換を推進【仙台市】 ・バス露の目営業所においてパーク&バスライドを実施【交通局】 ・タケヤ交通本社前バス停に一般の方々の乗用車の駐車場3台分を設置【タケヤ交通】 	<p><パーク&ライド等の推進></p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続して荒井駅前P&R駐車場の利用実績確認(毎月)および荒井駅周辺の時間貸し駐車場調査(年1回程度)を実施【仙台市】 ・パーク&ライド等の利用が可能な駐車場の維持、および公共交通利用の転換を図るため、周知ポスターの掲示を継続【仙台市】 ・継続してバス露の目営業所においてパーク&バスライドを実施するが、東西線開業以降利用者は減少【交通局】 ・待機場所の環境整備(テレビ、雑誌等配備)や一般車用の駐車場の利用状況と傾向を把握し、R5年度末を目途に駐車場の増設を検討【タケヤ交通】 				

方針2 賑わい創出に向けた都心交通環境の再構築

(1) 賑わいや回遊性向上に資する交通環境づくり

施策	施策内容	実施時期				進捗状況(R5.9月末時点)	今後の予定・課題等	施策の推進における新型コロナウイルス感染症の影響
		R3年度	R7年度	R8年度	R12年度			
施策13	賑わいや回遊性の向上に資する道路空間の創出					<p><定禅寺通活性化事業の推進></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「勾当台・定禅寺通エリアビジョン」や「定禅寺通エリアまちづくりビジョン2030」を踏まえ、R5年3月に「定禅寺通再整備方針」を策定【仙台市】 ・R4.4に設立された（一社）定禅寺通エリアマネジメント(JSAM)による新たなエリアマネジメント推進体制による取組みや、地域活動主体による道路空間利活用の取組みを支援【仙台市】 ・R5年度は、定禅寺通再整備方針に基づき、再整備に向けた測量・調査・設計を実施【仙台市】 ・JSAMの都市再生推進法人の指定を目指し、そのステップとしてR5.8に「都市再生まちづくり団体」に認定【仙台市】 	<p><定禅寺通活性化事業の推進></p> <ul style="list-style-type: none"> ・定禅寺通再整備方針に基づき実施している再整備事業について、継続して測量・調査を実施し、その結果をもとに設計に着手(R5年度末に完了予定)、R6～9年度に工事が施工される見込み【仙台市】 ・整備後の道路空間における道路内建築物の常設設置を目指し、今後、JSAMを都市再生推進法人へ指定予定。設置に向けた課題として、地区計画の変更、都市再生整備計画の変更、ほごみち区域の指定などの手続きを進める必要あり【仙台市】 	
						<p><青葉通再整備事業の推進></p> <ul style="list-style-type: none"> ・R4年度に、青葉通駅前エリアのあり方検討協議会およびワーキングを3回開催し、社会実験の「交通規制・利活用内容・効果検証・交通量調査内容・広報等」について決定し、実験による利活用効果や交通量調査結果を報告【仙台市】 ・「青葉通『沿道利活用』社会実験2022」実施（R4年9月23日～10月10日（工事を含めた交通規制：9月19日～10月13日））【仙台市】 ・R5年度4月の常任委員会にて社会実験結果を報告、また8月に青葉通駅前エリアのあり方検討協議会を開催し、社会実験結果の振り返りと今後の進め方について説明【仙台市】 	<p><青葉通再整備事業の推進></p> <ul style="list-style-type: none"> ・青葉通駅前エリアにおける将来ビジョン策定に向け、効果検証の深掘り、関係者との意見交換等を実施、コンセプトの検討等のとらまとめ【仙台市】 ・青葉通駅前エリアに関与していく人材の発掘、育成を関係者との意見交換を市民参画イベント等を通して実施【仙台市】 	
						<p><宮城野通における道路空間利活用の推進></p> <ul style="list-style-type: none"> ・R3年～4年度に「仙台駅東地区における賑わい・モビリティ・物流が共存する道路空間の社会実験」実施、社会実験終了後もテーブルやデジタルサイネージおよびついでに継続設置するとともに、楽天野球団から寄贈されたベンチを継続して設置【仙台駅東まちづくり協議会】 	<p><宮城野通における道路空間利活用の推進></p> <ul style="list-style-type: none"> ・仙台駅東まちづくり協議会が継続的にエリアマネジメント事業が実施できるよう体制づくり等を支援【仙台市】 ・デジタルサイネージやベンチの常設化に向け、歩行者利便増進道路制度の活用に向けた社会実験及び歩行者交通量調査を実施【仙台駅東まちづくり協議会】 	
						<p><市役所本庁舎立替えとあわせた市民広場利活用の検討・整備></p> <ul style="list-style-type: none"> ・R4年9月に新本庁舎低層部と勾当台公園市民広場の一体的利活用に係る社会実験および交通量調査を実施【仙台市】 ・R5年8月に「（仮称）新本庁舎低層部等一体的利活用検討会形成支援及び賑わい創出社会実験企画運営業務委託」の契約締結【仙台市】 ・新本庁舎低層部と再整備を予定している勾当台公園との一体的な空間利活用を促進するため、つなぎ横丁（市道国分町三丁目1号線等）の車線構成の見直し等に係る再整備の検討に着手【仙台市】 	<p><市役所本庁舎立替えとあわせた市民広場利活用の検討・整備></p> <ul style="list-style-type: none"> ・R5年11月に新本庁舎低層部に求められる機能や周辺の波及効果等を検証する社会実験を実施予定【仙台市】 ・有識者や地権者、職員で構成される「（仮称）新本庁舎低層部等一体的利活用検討会」を開催予定(3回程度)【仙台市】 ・R5年度末に、一体的利活用の目指すべき姿を踏まえたビジュアルによるエリアの将来像を作成予定【仙台市】 ・R7年度に新本庁舎低層部事業者の募集・決定、R8年度～R9年度に新本庁舎低層部開業準備予定【仙台市】 ・関係者との調整等を行いながらつなぎ横丁再整備の方針を整理【仙台市】 	
						<p><賑わいや回遊を生み出す歩行者空間等の創出></p> <ul style="list-style-type: none"> ・X橋車可通元寺小路公園について、H31年度より公園整備に着手し、R5年3月31日に開園【仙台市】 ・「仙台駅東まちづくり協議会」が主体となり、榴岡公園におけるパークマネジメント社会実験をR3年度から実施し、現在も継続して実施中【市民・仙台市】 ・都心の回遊性向上につながる交通機能の確保や歩行者空間の創出を検討するため、学識経験者や関係団体からなる「都心交通勉強会」を設置【仙台市】 ・R4年10月より、仙台都心循環線まわりの「チョコット」withラプラスの運行開始【宮城交通・仙台市】 	<p><賑わいや回遊を生み出す歩行者空間等の創出></p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園の利用実態やパークマネジメント社会実験の結果等を踏まえ、榴岡公園の利活用方針を策定し、市民や関係団体と協働しながら、官民連携で公園運営管理を進める【市民・仙台市】 ・都心内の交通特性の分析、「都心交通勉強会」における意見徴収を踏まえ、R5年度中に都心内の回遊性向上に繋がるルート・ターゲットを設定予定【仙台市】 	
施策14	都心部における駐車施設の適正な確保				<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場附属義務条例に基づき、駐車施設の設置について指導【仙台市】 	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場附属義務条例に基づき、継続して駐車施設の設置について指導【仙台市】 ・特別利用物件の実績等を踏まえ、都心部の駐車場整備や駐車場出入口配置のあり方について検討【仙台市】 		
施策15	公共交通を利用した都心の回遊の促進				<ul style="list-style-type: none"> ・120円ゾーンと市中心部地下鉄均一運賃（210円）を継続し、都心部における公共交通利用促進を図った【宮城交通・交通局・仙台市】 ・「120円ゾーン一日乗車券」の実証実験を終了し、本格実施として仙台MaaSで販売するとともに、改めて当該券種のPRについて調整【宮城交通・交通局】 ・均一運賃制度利用促進に向けた取り組みを検討や認知度の向上を図る取り組みを実施【仙台市】 ・R5年3月にどこバス仙台英語対応・オープンデータ出力のためのバスロケーションシステム改修を実施【交通局】 ・5年度にGTFS-RT(動的バス情報フォーマット)を含めたオープンデータの公開方法について関係機関と協議【交通局】 ・交通局ホームページ、SNS及び「どこバス仙台」において、運行情報などリアルタイムでの情報発信【交通局】 ・都心の回遊促進につながる取組として、R4年10月から仙台都心循環線まわりの「チョコット」withラプラスを実証運行し、R5年4月から本格運行【宮城交通・仙台市】 ・仙台都心循環線の利用促進に向けた周知広報として、仙台観光国際協会・仙台商工会議所と連携をし、市内の観光案内所及び仙台市中心部商店街活性化協議会へチラシを配布し、市内全ての小学校、児童館、幼稚園、保育所及びのびのびすく等にもチラシ・ポスターを配布【仙台市】 ・R5年9月開催の仙台市交通政策推進協議会において、仙台都心循環線に対して、国庫補助金活用に向けた議事を諮り承認【仙台市】 	<ul style="list-style-type: none"> ・都心バスや地下鉄の均一運賃制度を継続して実施するとともに、都心部における均一運賃制度の対象エリアや運賃設定等について、引き続き検討【宮城交通・交通局・仙台市】 ・「120円ゾーン一日乗車券」の仙台MaaSでの販売の在り方について検討【交通局】 ・均一運賃制度の利用促進に向けた取り組みや、認知度の向上を図る取組みを継続して検討【仙台市】 ・多様な媒体での紹介やイベントとの連携により「120円ゾーン一日乗車券」の認知度の向上を図る【交通局】 ・GTFS-RTを含めたオープンデータの公開について継続して検討するが、GTFS-JP(静的バス情報フォーマット)についてデータの修正等が必要であり、GTFS-RTを含めたオープンデータの公開前に解消する必要がある【交通局】 ・今後も「どこバス仙台」においてリアルタイムでの情報発信を継続【交通局】 ・仙台都心循環線に対して、R5年10月より国庫補助金を活用【仙台市】 ・仙台都心循環線の利用促進に向けた周知広報について交通事業者と協議・検討【仙台市】 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナによるお出かけ需要の減や他交通手段への逸走により、コロナ前と比較すると利用者は減少【交通局】 	
						<ul style="list-style-type: none"> ・「仙台市自転車の安全な利活用推進計画」に基づき、自転車通行空間の整備を推進【仙台市】 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き「仙台市自転車の安全な利活用推進計画」に基づき、自転車通行空間の整備を推進予定【仙台市】 	
施策16	自転車利用環境の整備				<ul style="list-style-type: none"> ○R4年度整備実績 自転車ネットワーク路線：2.6km、あんしん通行路線：1.3km ○R5年度上半期実績 自転車ネットワーク路線：3.3km、あんしん通行路線：1.9km 			
施策17	コミュニティサイクルの利用促進				<ul style="list-style-type: none"> ・DATE BIKE自転車台数を870台(R4.4月時点)から1,000台へ段階的に増車【仙台市】 ・仙台MaaS上のデジタルマップとDATE BIKEポートの連携を開始【仙台市】 ・観光ガイド（Discover SENDAI等）へのDATE BIKE記事の掲載を継続実施【仙台市】 ・DATE BIKEポートを適切に設置【企業・仙台市】 (R4年4月1日時点 118箇所→R5年9月末時点 128箇所) 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光ガイド（Discover SENDAI等）へのDATE BIKE記事を継続して掲載【仙台市】 ・DATE BIKE利用方法の周知や分かりやすい案内表示、英語以外の情報提供方法を検討【仙台市】 ・引き続きDATE BIKEポートを適切に配置（ポート設置場所に関する調査等を実施）【企業・仙台市】 		

(2) 多様な交通が安全・安心して共存するまちの交通環境づくり

施策	施策内容	実施時期				進捗状況(R5.9月末時点)	今後の予定・課題等	施策の推進における新型コロナウイルス感染症の影響
		R3年度	R7年度	R8年度	R12年度			
施策18	都心部における道路交通の安全性と円滑性の確保					<p><路上駐車対策></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「仙台市違法駐車等の防止に関する条例」及び「違法駐車等防止助言、啓発活動実施要領」に基づき、重点地域において、違法駐車車両に対し必要な助言及び啓発活動を実施【仙台市】 ○R4年度(活動回数：101回、助言・啓発回数：1,285件、移動件数：395件) ○R5年度上半期(活動回数：46回、助言・啓発回数：561件、移動件数：137件) ・路上駐車車両に対する交通指導取締りを実施【交通管理者】 	<p><路上駐車対策></p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き「仙台市違法駐車等の防止に関する条例」及び「違法駐車等防止助言、啓発活動実施要領」に基づき助言・啓発活動を実施するが違法駐車車両取扱い等の強制力を持たないため、助言等に不十分な車両への対応が課題【仙台市】 ・継続して路上駐車車両に対する交通指導取締りを実施【交通管理者】 	
						<p><路上荷捌き対策></p> <ul style="list-style-type: none"> ・路上荷捌き場所の確保に向けて関係部署間で調整【交通管理者・仙台市】 ・駐車場附属義務条例に基づき、荷捌き車駐車施設の設置について指導【仙台市】 ・駐車場整備地区等において、路上駐車する貨物自動車の状況調査を実施(R5.5.26、R4.6.21、R3.6.11)【仙台市】 	<p><路上荷捌き対策></p> <ul style="list-style-type: none"> ・路上荷捌き場所の確保に向け継続して調整【交通管理者・仙台市】 ・駐車場附属義務条例に基づき、荷捌き車駐車施設の設置について随時指導【仙台市】 ・駐車場整備地区等において、路上に駐車する貨物自動車の状況調査を実施(年1回程度)【仙台市】 	
						<p><客待ちタクシー対策></p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係部署と調整しながら「国分町3Way方式」を実施【交通管理者・仙台市】 ・R4年度に「地域公共交通確保維持改善事業費補助金（経営改善支援事業（デジタル化等）」より、配車アプリ・システムの導入等の事業に係る費用を補助【関係行政機関】 	<p><客待ちタクシー対策></p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係部署と調整しながら「国分町3Way方式」を継続して実施【交通管理者・仙台市】 ・R4年度第二次補正予算「訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業費補助金（交通サービスインバウンド対応支援事業）」にて内示・交付申請済(交付決定・事業完了後交付予定)【関係行政機関】 	

方針3 多様な都市活動を支える交通政策の推進

(1) 新技術等を活用した交通システムの促進

施策	施策内容	実施時期				進捗状況(R5.9月末時点)	今後の予定・課題等	施策の推進における新型コロナウイルス感染症の影響
		R3年度	R7年度	R8年度	R12年度			
施策19	MaaS導入の検討					<ul style="list-style-type: none"> ・R3年10月30日から「仙台MaaS」のサービスを開始【仙台市】 ・仙台MaaSで「地下鉄一日乗車券デジタル版実証実験」(R4年9月30日～10月2日)および「仙台MaaS×ラプラスデジタルスタンプラリー」(R4年10月8日～R5年1月7日)を実施【仙台市】 ・るーぶる仙台一日乗車券、るーぶる仙台・地下鉄共通一日乗車券、仙台まるごとバスを引き続き実施している。また、各種チケットについて、仙台MaaSやTOHOKU MaaSに参加中(一部調整中)【仙台市】 ・「120円/バス区一日乗車券」の実証実験を終了し、本格実施として仙台MaaSで販売【宮城交通・仙台市】 ・全国都市緑化仙台フェア期間限定で、市/バスの特定区間(荒井駅～農産園芸センター前、荒井駅～震災遺構仙台市立荒井小学校前)及び地下鉄南北線、東西線を利用できる一日乗車券を仙台MaaSで販売【交通局】 ・仙台西部ライナー、仙台エアポートリムジンバス、みやぎ蔵王山麓アクセス線のシームレスに乗り継ぎ可能となる仙台MaaS、東北MaaSのほか、旅CUBE、Ryde passについても導入実施【タケヤ交通】 	<ul style="list-style-type: none"> ・仙台MaaS運営委員会(年2回程度開催)における議論等を踏まえながら、事業を推進【仙台市】 ・仙台まるごとバス(仙台MaaSへの早期参加)に向け、関係部局と調整【仙台市】 ・仙台MaaSについてまちづくり政策局プロジェクト推進課と連携し、引き続き広報活動に務める【交通局】 ・仙台MaaSでの新券種販売について検討予定【交通事業者・仙台市】 ・GTFS-RTデータと仙台MaaSのデジタルマップとの連携を検討中【タケヤ交通・仙台市】 	
施策20	自動運転等新技術の活用検討						<ul style="list-style-type: none"> ・民間事業者等との情報共有を図りつつ、実施場所の提供、申請等の補助等必要なバックアップを行い、実証実験を促進【仙台市】 	
施策21	環境負荷の低いバス車両の導入に向けた検討					<ul style="list-style-type: none"> ・R5年2月にEVバス2台導入【宮城交通】 ・導入済みのバス会社の情報入手し、今後の導入方向について検討【タケヤ交通】 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続して他社の導入状況等を把握し、R6年度中に導入の方向性を検討【タケヤ交通】 	

(2) 活発な都市経済・広域的な交流を支える交通環境の形成

施策	施策内容	実施時期				進捗状況(R5.9月末時点)	今後の予定・課題等	施策の推進における新型コロナウイルス感染症の影響
		R3年度	R7年度	R8年度	R12年度			
施策22	多様な都市活動を支える主要な幹線道路の整備と機能確保					<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画道路宮沢根白石線(南鍛冶町・舟丁工区)について、R5年3月に供用開始【仙台市】 ・都市計画道路南小泉茂庭線(宮沢橋工区)について、若林区側の盛土擁壁の一部が完成【仙台市】 ・都市計画道路南宮北福室線(福室工区)について、R5年3月に供用開始【仙台市】 ・宮城県渋滞対策連絡協議会をR4年度に2回、R5年度に2回開催し、渋滞実態の把握、分析、渋滞対策に関する施策の検討等について関係機関相互の調整を実施【関係行政機関、仙台市】 (主要渋滞箇所：仙台市はR4年度時点で120箇所) ・国土交通省が事業を進めている、国道4号仙台拡幅や国道4号仙台拡幅(竜ノ瀬～鹿の又)について、連携し事業を推進【仙台市】 ・国道4号仙台拡幅では、箱堤高架橋下部工完成、上部工施工中【関係行政機関】 ・国道4号仙台拡幅(竜ノ瀬～鹿の又)では、道路設計実施中【関係行政機関】 ・継続して国土交通大臣が指定した重要物流道路機能強化を推進【仙台市】 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き国土交通省と連携し事業を推進【仙台市】 ・国道4号仙台拡幅では、R6年度の開通に向け橋梁工事及び舗装工事等を推進【関係行政機関】 ・国道4号仙台拡幅(竜ノ瀬～鹿の又)では、道路設計を推進【関係行政機関】 ・継続して国土交通大臣が指定した重要物流道路機能強化を推進【仙台市】 	
施策23	旅行者等が移動しやすい環境の整備					<ul style="list-style-type: none"> ・るーぶる仙台の運行ルートの一部である市道仙台北城跡線がR5年3月の地震の影響で全面通行止めとなったため、仙台北城跡停留所の位置およびルートを変更し利便性を確保【仙台市】 ・観光客等の利便性向上に資するため、全国都市緑化仙台フェアの開催期間中のうち、GW期間中毎日及びGW期間後の土日(計21日間)に、通行止めとなっている市道仙台北城跡線においてシャトルバスを運行【仙台市】 ・R5年度に、東部海浜エリアのループバス運行実証事業として、海浜エリアの復興や海の魅力を体感できるループバス「せんだい海手線ループバス」を運行(運行期間：R5年7月17日～8月20日 計35日間)【仙台市】 ・R4年10月から仙台都心循環線まのり「チョコット」withラプラスを実証運行し、R5年4月から本格運行【宮城交通・仙台市】 ・仙台MaaS上のデジタルマップとDATE BIKEポートの連携を開始【仙台市】 ・観光ガイド(Discover SENDAI等)へのDATE BIKE記事の掲載を継続実施【仙台市】 ・連携協定(H30)に基づき、仙台空港定額タクシーを設定のうえ、仙台市HPから定額タクシーHPへのリンク設置、時間帯(観光)タクシー商品や定額タクシーコース商品の策定について協議を継続【宮城県タクシー協会仙台地区総支部・仙台市】 ・地図上から該当の路線バスを検索できるアプリ等を導入【タケヤ交通】 ・仙台都心循環線まのり「チョコット」withラプラスについてHPやSNS等で情報発信【宮城交通・仙台市】 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ後の需要回復や市道仙台北城跡線の通行再開等を見据えつつ、引き続きるーぶる仙台の利便性向上のための取組みを進める【仙台市】 ・「せんだい海手線ループバス」の継続運行を目指し、R6年度に運行期間を延長した実証運行を予定(運行期間：R6年7月1日～9月30日 計92日間)【仙台市】 ・R7年度以降の「せんだい海手線ループバス」の継続運行のための組織設立と費用の捻出が課題【仙台市】 ・観光ガイド(Discover SENDAI等)へのDATE BIKE記事を継続して掲載【仙台市】 ・DATE BIKE利用方法の周知や分かりやすい案内表示、英語以外の情報提供方法を検討【仙台市】 ・時間貸タクシー・定額タクシーの商品数の増加、PR方法の検討、連携内容についてのブラッシュアップが必要だが、タクシー協会が開設を予定している定額タクシー情報集約ページ作成の進捗がマンパワー不足により進まず、各社が独自に定額サービスを提供している状況のため、引き続き意見交換しながら検討【宮城県タクシー協会仙台地区総支部・仙台市】 ・MaaSも含め、乗り継ぎ案内などの事業者へ情報提供を積極的に展開し利用促進を図る【タケヤ交通】 	

(3) 安心・安全な交通環境の形成

施策	施策内容	実施時期				進捗状況(R5.9月末時点)	今後の予定・課題等	施策の推進における新型コロナウイルス感染症の影響
		R3年度	R7年度	R8年度	R12年度			
施策24	安心・安全なバリアフリー空間や道路空間の整備					<ul style="list-style-type: none"> ・R5.3月に「仙台市バリアフリー基本構想 地区別構想(泉中央地区・長町地区)」を改定【仙台市】 ・R5年度中の「仙台市バリアフリー基本構想 地区別構想(北仙台地区)」の改定に向け、バリアフリー推進協議会、協議会幹事会及びまち歩きワークショップを開催【仙台市】 ・R4年度に電照式標識を5箇所、バス停止屋を6箇所整備【交通局】 ・R4年度に広告付きバス停を4か所、R5年度に2箇所整備【交通局】 ・仙台市道路バリアフリー特定事業計画に基づきバリアフリー化を推進【仙台市】 (※地区別進捗：都心地区78.9%、泉中央地区78.2%、長町地区72.2%、北仙台地区87.7%) ・仙台市都市公園バリアフリー特定事業計画に基づきバリアフリー化を推進【仙台市】 (※地区別進捗：長町地区100%(八本松公園100%) [平成29年度完了] 泉中央地区58.2%(七北田公園44.2%、泉中央公園86.1%) 都心地区55.0%(勾当台公園25.0%、錦町公園100.0%、元鍛冶町公園100%) ・各地区における仙台市交通安全特定事業を推進し、進捗率100%を達成【交通管理者】 	<ul style="list-style-type: none"> ・R5年度中に「仙台市バリアフリー基本構想 地区別構想(北仙台地区)」を改定予定【仙台市】 ・R6年度以降も、仙台市交通局バリアフリー特定事業計画に基づき、電照式標識や上屋・ベンチを整備予定【交通局】 ・R5年度下期以降の広告付きバス停止屋整備計画について民間事業者と引き続き協議するが、民間事業者都合で整備計画が変更となること課題【交通局】 ・交通局発注工事(バス停止屋)の設置工事を請け負う業者が無い事が課題【交通局】 ・「仙台市道路特定事業計画」「仙台市バリアフリー特定事業計画」の目標年度であるR7年度に向けて、計画的に取組みを進めていく【仙台市】 ・勾当台公園については、再整備事業において公園施設のバリアフリー化を検討している項目があるため、再整備計画の内容と調整を行いながら、目標年度までの進捗を図る必要がある【仙台市】 ・関係機関と調整を図り、必要に応じてさらに整備を進めていく【交通管理者】 	
						<ul style="list-style-type: none"> ・地域の実情に応じて、通学路の安全対策(市)柵木通線 路側帯カラー化等)や自転車利用環境の整備(市)片平丁線 矢羽設置等)の実施【仙台市】 (R4年度通学路安全対策実績：90箇所) ・交通の危険箇所において、道路管理者や関係機関とともに道路の安全点検等を実施し、各種安全対策を検討【交通管理者】 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、通学路対策箇所や自転車通行空間等の整備を推進【仙台市】 ・継続して道路管理者等と安全点検等を実施し、対策を進めていく【交通管理者】 	
施策25	災害時における公共交通利用者への対策の実施					<ul style="list-style-type: none"> ・毎年、帰宅困難者対策連絡協議会の開催及び対応訓練の実施により情報共有・連携を確認【交通事業者・仙台市】 (R4.4月～R5.9月末までの実績) 【仙台駅周辺帰宅困難者対策】 R4年度：協議会3回・訓練1回、R5年度：協議会2回・訓練1回 【長町駅周辺帰宅困難者対策】 R4年度：協議会3回・訓練1回、R5年度：協議会2回 【泉中央駅周辺帰宅困難者対策】 R4年度：訓練1回 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き協議会の開催及び対応訓練を実施し、災害時における帰宅困難者の混乱抑制と安全確保に向けた取組みを推進【交通事業者・仙台市】 【仙台駅周辺帰宅困難者対策】 R6年1月に第3回協議会を実施予定 【長町駅周辺帰宅困難者対策】 R5年11月に帰宅困難者対応訓練を実施予定 R6年1月に第3回協議会を実施予定 【泉中央駅周辺帰宅困難者対策】 R5年11月に帰宅困難者対応訓練を実施予定 泉中央駅周辺帰宅困難者対応マニュアル作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・仙台駅周辺および長町駅周辺において、R2年度、R3年度は実証訓練を中止。代替として各一時滞在場所での図上訓練や情報伝達訓練を実施【仙台市】 ・ソーシャルディスタンスや、体調不良者の専用スペースを確保する必要があることから、一時滞在場所で最大収容人数の帰宅困難者の受け入れが困難であることが見込まれ、さらなる一時滞在場所の確保が必要【仙台市】